

平成 28 年 11 月 22 日

各 位

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 弘明
(コード番号 2743 JASDAQ)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役副社長兼コーポレート本部長 本瀬 建
電 話 03-6731-3414

小形風力発電の取り扱い開始に関するお知らせ

当社グループのハイブリッド・ファシリティーズ株式会社（所在地：東京都港区、代表者：代表取締役 伊地知宣雄、事業内容：太陽光発電施設の販売を始めとする環境関連事業、資本金：30 百万円、以下「HBDF社」といいます。）において、再生可能エネルギー分野の業容拡大の為、新たに小形風力発電（20 kW未満）の取り扱いを開始致しましたので、お知らせいたします。

HBDF社は、再生可能エネルギーの普及拡大を目指し、太陽光発電施設の企画・販売などを行って参りました。これまで太陽光発電事業において培ってきた、ノウハウ、独自の用地仕入ルート、立地調査、設備調達ルート、メンテナンスの提供ルートを活用し、小形風力発電の商品開発に展開してまいります。

2015 年 7 月には政府より 2030 年に向けたエネルギーミックス（電源構成）が決定されており、このエネルギーミックスにおいて、再生可能エネルギーが日本の電源の中核を担う電源の一つとして位置付けられており（全発電電力量の 22～24%）、今後持続的に風力発電事業の拡大が見込めるものと想定しております。

また、日本風力発電協会によると、2015 年末で計 3,038MWの風力発電設備が 2020 年代早々にも 3 倍以上の 10,000MWに拡大すると予測されており、太陽光発電と並び重要な電源とされる風力発電は、風があれば発電するため、太陽光発電と比べると設備利用率が高く、また、燃料を確保する必要がありません。なお、IEA（国際エネルギー機関）によると風力発電は世界的に見た場合、再生可能エネルギーの全体の約 48.4%（2013 年時点）をしめております。風車の増速率を高める技術や強風時のブレードの回転の減速技術等技術革新から風力発電事業の普及が見込まれております。

事業会社としてもエネルギーの安定供給を実現していくことは企業のサステナビリティを高めることに繋がり、アメリカをはじめ国内の事業会社が再生可能エネルギーでの発電を自社で推進する等、普及の追い風になるものと想定しております。

HBDF社は全国をエリア対象としておりますが、小形風力発電の第 1 弾として、合計 60 基（千葉県 4 基、茨城県 3 基、鹿児島県 18 基、静岡県 2 基、三重県 6 基、大分県 3 基、佐賀県 21 基、山口県 3 基）の小形風力発電施設の F I T 申請手続きを行っており、翌期供給開始に向け供給体制を整えております。

今後の見通し

本件取り組みによる収益貢献は翌期以降となると想定しております。なお、来期の業績に与える影響は軽微ですが、業績への影響が重要なものとなる場合には、適正かつ合理的な数値の算出が可能になりました段階で公表いたします。

以上

本件に関するお問い合わせ先
ハイブリッド・ファシリティーズ株式会社
事業開発部 風力発電事業担当
TEL:03-6731-3430
FAX:03-6731-3431
E-mail: hbf_env@hbd.co.jp